

基本情報						
教科・科目		高1 歴史総合	・授業で使用するもの 授業プリント(各自無くさないようにすること) iPad：調べ学習、資料やコメント投稿、その他アプリ等の使用 教科書：山川出版社「現代の歴史総合編入・読みとく・考える」			
担当者		宮地 若葉				
評価割合（試験：試験外）		試験：6 試験外：4 課題の解決を構想・考察・説明・議論することができる。	・定期テスト：年間5回（100点満点） ・試験外 ・授業レポート（ロイロノートにて配信） ・提出課題 ・小テスト			
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）	現代社会における諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する力			
		理知（思考力・判断力・表現力等）	近現代の歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想・議論する力			
		探求・敬智（主体的に学習に取り組む態度）	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究・解決しようとする態度を養う力			
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4 ～ 5		歴史の扉 近代化「近代は乗り越えられるのか」	近代化に伴う生活や社会の姿容について、諸資料から多角的に考察し、現代的な諸課題とのつながりについて自らの問いを表現できる。	歴史の特質と資料 近代化とは何か Keyword：資本主義、欧米化、近代化の負の側面 大きな問い：近代化は私たちの生活や社会の在り方をどのように変えたのだろうか？ 1：19世紀に急速に普及した鉄道や蒸気船は、世界の結びつきをどう変容させたか？ 2：産業の発達と人口動態の変化は、人々の生活や家族の在り方どのような影響を与えたか？ 3：教育の普及は、社会の平等化や個人の人生の選択枝をどのように広げたか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・レポート ・プレゼンテーション
		市民革命と産業革命	産業革命による工業化と世界市場の形成、および市民革命による立憲体制の確立過程を構造的に理解する。	大きな問い：近代の政治・経済の基礎となる「革命」は、どのような社会的背景で起こり、世界へ波及したのか？ Keyword：大西洋革命、アメリカ独立革命、フランス革命、産業革命 1：なぜイギリスで産業革命が先行し、どのような新しい生産システム（資本主義）が確立されたのか？ 2：アメリカ独立革命やフランス革命が目指した人権と民主主義の理想と、当時の限界は何だったのか？ 3：大西洋を挟んだ諸地域で連鎖した「環大西洋革命」は、互いにどう影響し合っていたのか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		国民国家	国民国家の形成過程を理解し、ナショナリズムがもたらした統合と対立の側面を多面的に考察できる。	大きな問い：「国民」という意識はどのように創り出され、国民国家の成立は社会にどのような影響をもたらしたのか？ Keyword：国民、ウィーン体制、自由主義、ナショナリズム 1：多様な人々を一つの「国民」に統合するために、学校や軍隊はどのような役割を果たしたか？ 2：イタリヤやドイツの統一は、先行する列強への「追いつき」の意図とどう関係していたのか？ 3：ナショナリズムの高揚は、国内の少数派に対する排除や差別をどのように生み出したか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
6		定期試験① 令和8年 6月3日～6月5日				
6 ～ 7		世界市場の形成とアジアの姿容	世界市場の形成過程における欧米とアジアの経済的立場の逆転（大分岐）とその要因を構造的に理解する。	大きな問い：自由貿易の広がりは、アジア諸国の社会構造や欧米との国際関係をどう変容させたのか？ Keyword：世界市場、「西洋の衝撃」、アヘン戦争、洋務運動 1：18世紀の東アジア（清・日本）経済は、欧米諸国に対してどのような優位性や影響力を持っていたか？ 2：産業革命を経た欧米列強は、アジア諸国をどのように自国の製品市場や原料供給地に組み込んだか？ 3：中国の開港と日本の開国は、従来の東アジアにおける人・モノ・情報の流れをどう変えたか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		日本の近代化～世界の中の日本	日本の近代化を国際的視点から捉え、その特質と、現代の領土・労働問題へと続く課題を主体的に追究できる。	Keyword：日本の開国、明治維新、文明開花、日本の産業革命 1：明治政府は、欧米との対等な関係を目指してどのように条約改正や国境の画定を進めたのか？ 2：日本の産業革命において、紡績業と製糸業はそれぞれどのような役割を果たし、短期間で進展したのか？ 3：急速な近代化は、農地改革や身分制度の解体を通じて日本の社会構造をどう変えたか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		立憲制～なぜ憲法を求めたのか	日本における立憲体制の成立過程と特色を、欧米の事例との比較を通じて考察し、表現できる。	Keyword：立憲制、自由民権運動、大日本帝国憲法、オスマン帝国憲法 1：自由民権運動の担い手たちは、どのような理想を持って国会の開設や憲法の制定を求めたのか？ 2：大日本帝国憲法における天皇と議会の権限は、どのように規定され、運用されたのか？ 3：立憲体制への移行は、国民の政治参加や権利意識をどのように変化させたか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		帝国主義～植民地支配は「文明化」なのか	帝国主義政策の背景と特徴を理解し、それが植民地側にもたらした姿容と現代に残る課題を考察できる。	大きな問い：19世紀後半、列強はなぜ過酷な植民地獲得を進め、支配をどのように正当化したのか？ Keyword：第二次産業革命、世界分割、日清戦争、日露戦争 1：第二次産業革命の進展は、列強の海外進出（帝国主義政策）の動機をどう変化させたか？ 2：欧米列強は、自らの支配を「文明化の使命」としてどのように合理化・正当化したのか？ 3：植民地支配は、現地社会の経済（モノカルチャー経済化など）にどのような変化をもたらしたか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
7 8	-	定期試験② 令和8年 7月15日～7月17日 範囲				
9 ～ 10		植民地と反植民地主義	植民地支配と抵抗運動の相互作用を理解し、アジア・アフリカ諸国の自立と共生に関わる歴史を考察できる。	大きな問い：植民地支配への抵抗とナショナリズムの高揚は、20世紀の国際秩序をどう再編していたのか？ Keyword：列強の世界進出、植民地帝国の形成と発展、宗主国への抵抗運動、植民地の独立運動 1：日清・日露戦争の日本の勝利は、アジア諸地域のナショナリズムにどのような刺激を与えたか？ 2：第一次世界大戦後の「民族自決」の理念は、朝鮮や中国、インドの独立運動をどう変容させたか？ 3：植民地の人々は、宗主国の技術や思想を取り入れながら、どのように独自の近代化や抵抗を模索したか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		大衆化	大衆社会の形成と、それに伴う政治参加の拡大や生活様式の変容について、諸資料から多角的に考察し表現できる。	大きな問い：20世紀に登場した「大衆」は、社会や政治のあり方をどのように変容させたのだろうか？ Keyword：大衆社会、アメリカ合衆国の台頭、大量消費社会、民主主義の拡大（女性参政権） 1：大量生産・大量消費社会の到来は、人々の生活様式や価値観をどう平等化させたか？ 2：新聞、雑誌、ラジオなどのマスメディアは、大衆の政治意識にどのような影響を与えたか？ 3：大正デモクラシー期、日本において政党政治や社会運動はなぜ広がりを見せたのか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		第一次世界大戦～なぜ現代史の起点と言われるのか	総力戦の性格と惨禍、および大戦がもたらした国際社会と社会構造の変容を、前後の比較から構造的に理解する。	Keyword：総力戦、第一次世界大戦の影響 1：新兵器の導入や総力戦体制は、前線や後方の人々の生活をどう変えたか？ 2：女性の社会進出や植民地の人々の動員は、戦後の権利要求にどう繋がったか？ 3：戦後、ヨーロッパの地位が低下し、アメリカとソ連の影響力が増した要因は何か？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		国際協調体制	ヴェルサイユ・ワシントン体制の特徴と課題を理解し、各国の利害関係が国際協調に与えた影響を多面的に考察できる。	大きな問い：第一次世界大戦後の国際秩序は、なぜ長期的な安定を実現できなかったのだろうか？ Keyword：ヴェルサイユの14箇条、ヴェルサイユ体制、ワシントン体制、委任統治 1：国際連盟が掲げた「集団安全保障」の理想と、現実と抱えていた限界は何だったか？ 2：ワシントン会議による軍縮やアジア秩序の調整は、日本にどのような影響を与えたか？ 3：「民族自決」の理念は、アジアやアフリカのナショナリズムにどう作用したか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
10		定期試験③ 令和8年 10月21日～10月23日 範囲				
10 ～ 12		社会主義と共産主義	社会主義体制の成立過程と特質を理解し、それが世界各地の社会運動や国際政治に与えた影響を考察できる。	大きな問い：史上初の社会主義国家ソ連の誕生は、当時の国際社会にどのような衝撃と影響を与えたか？ Keyword：ロシア革命、社会主義運動の拡大、対ソ不信任戦争、シベリア出兵 1：ロシア革命が掲げた「土地」と「平和」の布告は、なぜ労働者や他民族民衆を惹きつけたか？ 2：欧米諸国や日本は、なぜコミンテルンの活動を脅威と感知し、干渉戦争を行ったのか？ 3：スターリン下の計画経済は、世界恐慌下の世界にどう映ったか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		世界恐慌	世界恐慌への各国の対応の相違と、国際協調体制が動揺していく過程を諸資料に基づき構造的に理解する。	大きな問い：経済危機は各国の政治体制をどう変え、国際社会の分断をどのように深めたのか？ Keyword：ニューディール政策、ブロック経済 1：アメリカで始まった不況が、なぜ短期間で全世界へ波及したのか？ 2：欧米のブロック経済政策は、資源の乏しい「持たざる国」にどのような行動を促したか？ 3：日本の昭和恐慌対策は、国内経済と政治に何をもたらしたか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		ファシズム	ファシズムが台頭した社会的背景と全体主義の特徴を理解し、それが第二次世界大戦へと繋がる要因を考察できる。	大きな問い：民主主義的な手続きを経て誕生した独裁政権は、どのように国民の支持を集めたのか？ Keyword：ファシズム、ヒトラー内閣、対外侵略 1：ドイツやイタリアの大衆は、なぜ自由よりも「強力な指導者」による秩序を求めたのか？ 2：ナチスは宣伝活動や公共事業を通じて、どのように国民を統合・統制したのか？ 3：ファシズム諸国によるヴェルサイユ体制の打破は、国際社会でどう受け止められたか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		日本における軍部の台頭	日本における軍部台頭の経緯と、対外政策が強化していく過程を、国内情勢と国際関係の関連から理解する。	大きな問い：昭和初期の日本は、なぜ政党政治から軍部主導の対外拡張路線へと転換したのか？ Keyword：満洲事変、日中戦争 1：農村の窮乏や社会不安に対し、軍部が行った主張や行動はなぜ支持を集めたのか？ 2：満洲事変から中国大陸進出に至る過程で、日本の国際的地位はどのように変化したか？ 3：日中戦争の長期化に対し、政府は国家総動員法などで国内をどう再編したか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
12		定期試験④ 令和8年 12月9日～12月11日 範囲				
12 ～ 3		第二次世界大戦～国際秩序の崩壊と総力戦下の社会変容	第二次世界大戦の展開と惨禍、および戦争体験が戦後の権利意識や民主主義の価値観に与えた影響を考察できる。	大きな問い：第二次世界大戦は、人類社会のあり方を根底からどう変容させたのだろうか？ Keyword：総力戦、戦争の惨禍 1：枢軸国と連合国の対立は、なぜ地球規模の凄惨な総力戦へと拡大したのか？ 2：ホロコーストや無差別爆撃、原子爆弾の使用は、戦後の人権意識にどう影響したか？ 3：戦時下の民衆動員は、社会構造や独立運動をどう変えたか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		戦後構想～国際連合と国際経済体制	第二次世界大戦後の国際秩序形成の過程と、現代社会を支える国際機構や経済システムの基本理念を理解する。	大きな問い：大戦の反省に基づき、新たな国際平和と経済の安定のためにどのような枠組みが作られたか？ Keyword：大西洋憲章、国際連合、ブレトンウッズ体制、日本国憲法 1：国際連合は、国際連盟のどのような失敗を教訓にして組織や権限を強化したか？ 2：ブレトン・ウッズ体制は、世界恐慌のような経済混乱を防ぐために何を定めたか？ 3：戦後、アメリカ合衆国が国際社会で圧倒的な主導権を握ることになった要因は何か？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
		冷戦の開始～米ソ対立の開始と日本の再軍備	冷戦の表面化と構造化の過程を理解し、それが日本を含む東アジアの戦後形成に与えた影響を多面的に考察できる。	大きな問い：共通の敵を失った後の「冷戦」は、世界をどう分断し、日本の進路にどう影響したか？ Keyword：冷戦の始まり、占領政策の転換、朝鮮戦争 1：トルーマン・ドクトリンやマッカーサー・プランは、冷戦の二極化をどう決定づけたか？ 2：アジアにおける冷戦は、朝鮮戦争という「熱戦」としてどのように具体化したか？ 3：冷戦の激化は、日本の独立回復（講和条約）と安保体制、再軍備にどう作用したか？	・講義(インプット) ・ディスカッション ・個人ワーク ・プレゼンテーション	・小テスト ・レポート ・プレゼンテーション
3		定期試験⑤ 令和9年 3月4日～3月6日 範囲				